

## 錦竜水

徳島県内でも有数の良質な天然水です。江戸時代(1603-1868)には、蜂須賀家が庶民の重要な水源と考え、役人を置いて管理しました。貴族や庶民は、その純粋な水質と味を求めて、この水を大切にしていました。

小さな泉の家が、寺町地区のランドマークともいえるこの場所にアクセスを提供しています。徳島県民は自由に水汲みができ、今でもボトルに水を詰めるために人々が訪れます。錦竜水は、地元のお菓子やアルコールの製造にも使用されています。